

第4次城陽市総合計画について考える

市民まちづくりワークショップ かわら版 第4号



第4回市民まちづくりワークショップを開催しました！

➤ 第4回市民まちづくりワークショップを平成28年3月24日（木）に、消防本部3階大会議室にて開催致しました。今回は、第3回で議論した「まちづくりの目標」を踏まえて、「城陽市を良くする100の提言」について3グループに分かれて議論頂きました。

— 当日のスケジュール —

| | |
|--------|---------------------------------|
| 14:00～ | 開会 本日の予定及びワークショップの進め方 |
| 14:30～ | 議論のポイント |
| 14:35～ | ワークショップ 「城陽市を良くする100の提言について」 |
| 15:50 | 閉会 |

～ワークショップでの議論のポイントについて小島先生からアドバイス～

近年、田園回帰という言葉を目にする機会が増えていますが、農村が単に農業を行う場から、豊かな緑環境など、都市にはない多面的な役割を持っている場として再認識されています。城陽についても京都市郊外の優良な住宅地という価値から新たな価値を持ち始めていると考えられます。1つ目は産業経済における期待する変化（新名神の整備や土地利用の変化）、2つ目はコミュニティの強さ、3つ目は城陽の持つ多様性（都市的側面と農村的側面を持ち合せている）が挙げられます。このような城陽の価値の変化とともに、これまでの会議の中で出された強みについて、その強みを活かすために誰が何をすべきかということを考えることが重要になるのではないのでしょうか。



～城陽市を良くする100の提言について、意見交換を行いました～

■意見の概要

| まちづくりの目標 | 分野 | 意見の概要 |
|-----------------------------|---|---|
| “未来輝く”にぎわいと交流が生まれるまち | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> ・特産物をPRするため互産互消に努める ・地元産のいも、いちじく、梅を使った食品コンクールを実施する ・学校給食に地元農産物を取り入れる ・後継者の育成を行う |
| | 商工業 | <ul style="list-style-type: none"> ・市特産品などを海外へPR、販促活動する ・寺田駅前のにぎわいをつくる（新たに誘致する企業の従業員の窓口駅とする） ・ワーク・ライフ・バランスを積極的にPRする |
| | 観光 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けのパンフレットを作成し、幅広くPRする ・観光ガイドを募集し、案内体制をつくる ・公共施設にWi-Fi利用を可能にする設備を設置する ・駐車場のある店を増やす |
| | 国際交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際感覚を持つため、姉妹都市との交流に出かける ・外国人への防災、災害時対応の体制を整備、マニュアル制定を行う |
| いのち “生命輝く”安心とふれあいがひろがるまち | 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代が、地域で支えあい、助けあい、互いに考えあう防災対策を行う ・まちが小さいため、市民のつきあいの中で、防災面その他の部分（子どもの保護、寝たきり老人の対応等）をよくするための知恵を出す ・市民への防災啓発を行う |
| | 防犯 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民（絆）向こう三軒両隣を強く意識し、情報を共有化する ・警察が防犯のため巡回する |
| | 健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・城陽が発祥のスポーツを活用した健康づくりを進める。また、市民が、和を求め、健康づくりに参加する |
| | 子育て | <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター等へのアクセスを改善する |
| | 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉先進都市を標榜できるまちづくりを推進する ・高齢者が、安心して出かけることができるまちづくりを行う |
| 地域コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣のおつきあいを大切にできるまちづくりを行う ・もしもの時に助けあえる、互いの気配を感じることでできるまちをつくる | |

■意見の概要

| まちづくりの目標 | 分野 | 意見の概要 |
|--------------------|------------|--|
| “笑顔輝く”愛着と創造力を育むまち | 歴史・文化・生涯学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座等で市の豊かな歴史の理解を深める充実したメニューを提供する ・すぐれた城陽の歴史文化を学習できる講座等への積極的な参加に努める ・「市民大学」で、「城陽の歴史」を古代～近代に渡ってシリーズで講義する ・城陽の郷土愛を育むため、歴史、古墳に関する教育を推進する ・文化芸術に親しむことが出来る場をつくる ・生涯にわたって充実した生活を送れる魅力ある施設の活性化を図る |
| | スポーツ | <ul style="list-style-type: none"> ・京都パープルサンガと小・中・高生とのふれあいの場をつくる ・山砂利採取跡地や河川敷等でイベントを定期的に行う ・子ども達が身近に遊べる場をつくる ・中学校のクラブに外部コーチをとり入れ、スポーツの技能を向上させる |
| | 学校教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域、各種団体を連携させ、学校に寄れる場所をつくる ・学校にもっと花や生きものを増やす運動をする ・校内清掃ボランティアを行う ・学校を子ども達が楽しいと感じることができる場にする ・スマホは9時以降は返事をしなくてもよいことにする |
| | 幼児教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園が老人施設と定期的に交流会を開催する ・昔の遊び等を通じて、園児と高齢者が共に遊び学ぶ場をつくる |
| | 地域コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> ・未来を担う子どもたちを健全に育つように見守っていく ・自治会加入のメリットを提供し、PRを行うことで加入を促進する ・人材の育成、活用のため、リーダー、講師の登録と紹介を行う ・家族で自治会や子供会の活動に参加し、暖かい家庭を作るために勉強する ・地域活動を女性中心から男性も参加できる体制にする |
| “生活輝く”自然と調和した快適なまち | 基盤整備・住環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・新道路や寺田駅前西側の早期開発を行う ・一人一人のモラルを向上させる。河川の清掃を行う。 ・近鉄寺田駅、JR城陽駅等の周辺地域をポイ捨て禁止地域にする ・気候温暖、住みやすい地域であることを実感してもらえるようPRする ・緑が多い、災害が少ない、学校給食が充実している等、城陽市の暮らしやすさをPRする ・空き家対策を行い、安全安心なまちにする |



➤ 各グループからの発表後、小島先生に講評いただきました。

今日は、それぞれの分野で面白いアイデアが出されたと思います。次回はこれらのアイデアを提言に持っていくことになり、面白いアイデアをどうしたら実現できるのかということを考える必要があります。その際、「連携」というキーワードが重要となり、行政内での「連携」はもとより、特に住民・地域・行政間の「連携」が重要と考えられます。このような視点をもとに提言について検討することが、次期総合計画のあらたな側面に繋がるのではないのでしょうか。

～第5回は平成28年4月開催予定です～

次回ワークショップでは、今回出された意見をおさらいするとともに、引き続き、「城陽市を良くする100の提言」について議論をおこないます。

【お問合せ先】

城陽市役所 企画管理部 企画調整課

TEL:0774-56-4041 FAX:0774-56-3999 E-mail:kikaku@city.joyo.lg.jp

